読者欄

土木会館建設に関する故金子源一郎氏の功績

名誉会員金子源一郎氏が亡くなられた．私は土木学会の専務理事として50周年記念の土木会館建設について，金子氏の暖いご指導を仰いだことが忘れられない．氏は，土木学会の現在の事務所および図書館の建設に関し建設委員長として多大の尽力をされたのである．事務所のほうは40周年記念として，また，図書館のほうは50周年記念として建設されたものである．土木学会は大正3年創立以来，事務所を移転すること11回，昭和32年に至って現在のところに落ちついたのは金子氏のご尽力に負うところが大きい．ここに氏のご功績を記してご冥福をお祈りしたい．

1．土木学会創立40周年記念事業としての土木会館の建設

土木学会は，昭和29年11月，創立40周年を迎えるにあたり，永久的な土木会館を建設することを計画，金子源一郎氏を委員長に委嘱して，まず敷地の選定に入った．その後，数次にわたる委員会において検討されたが敷地の決定をみるに至らず，一時は10年計画で創立50周年までに実現できればといった空気もあったが，昭和30年4月の第5回委員会において，国鉄の好意により現在の四谷駅付近の国鉄の用地を将来払い下げることを前提にして一時使用許可を得ることに決定した．

その後，事務所の建築設計および監督を関東地方建設局の営繕部に依頼（当時の地建局長は金子桂氏），昭和31年7月高野建設（株）が請負うことに決定，32年2月末完成，昭和32年5月，現在の四谷駅付近に移転したものである．

金子源一郎氏は当時三菱地所（株）の顧問をしておられ不動産問題にも祥しく，敷地の決定から現在の事務所の建築の完成まで，3年間にわたり，多大の尽力をされたのである．

2．土木学会創立50周年記念事業としての土木会館の建設

土木学会は，昭和39年11月をもって，創立50周年を迎え，その記念事業の一環として土木会館を建設することになり，この建設委員会の委員長に再び金子源一郎氏を委嘱したのである．

昭和37年9月第1回委員会が開かれ，現在の土木学会の所在地に鉄筋コンクリート造の会館を建設する計画であったが，計画を進めていくうちに，この土地が公園緑地に指定されていて，永久構造物はもちろんのこと事務所等の建築物は許されないことがわかった．当時金子委員長は総理府の首都圏整備委員会の委員をしておられ，東京都との度々の折衝にもかかわらず会館の建設は断念せざるを得ない状態であったが，図書館なら，それも永久建築物でなければ許されるということがわかった．土木学会としても図書館の必要性を認めていたので看板を変え図書館を建設することになり，史蹟「江戸城外濠跡」の現状変更や都市計画関係の許可を得て，昭和39年6月着工，鉄建建設（株）の請負により同年10月完成をみたものである．2回にわたるこの功績に対して，50周年記念式典において感謝状がおくられたのであった．

【名誉会員　羽田　巌・記】

「H. A. Einstein 先生記念文庫」の開設について

カリフォルニア大学名誉教授 H.A. Einstein 先生が急逝されてからすでに3年になります．先生は相対性理論で有名な Albert Einstein 博士の長男として 1904 年にスイスの Bern でお生まれになり，長じて 1926 年にスイス連邦工科大学の土木工学科を卒業されました．ご卒業後は土砂の流送問題を研究され，1936 年には「確率問題としての掃流土砂の輸送」という論文で母校より学位を授与されました．

1938 年にアメリカ合衆国へ移住されてからも引き続き同問題を研究されていましたが，1947 年，カリフォルニア大学バークレー校へ水工学の教授として移られました．以後の精力的なご研究については多弁を要しないと思います．先生はバークレー校にご在職の 25 年間に 70 編にも及ぶ論文を著わされ，土砂の流送問題の研究に偉大な業績を残されました．たまたま筆者がバークレー校に留学していたことがご縁で，今回，先生の未亡人である Elizabeth Roboz Einstein 博士より，防衛大学校土木工学教室へ，先生の遺品の一部が寄贈されました．これら遺品の中には先生の著わされた論文のうち 65 編の別刷，1943 年から 1973 年までの ASCE のジャーナル，手書きの論文原稿等が含まれています．当教室では図書室内に「H.A. Einstein 先生記念文庫」を設けてこれらの品々を大切に保管するとともに，教育・研究に活用いたしています．いうまでもなく，これら貴重な文献は当校のみの占有物ではありません．土砂の流送問題に興味を持たれる方々の積極的なご利用を切望いたします．

なお，バークレーでは，水工学に興味を持つ大学院生のために「H.A. Einstein 記念奨学金制度」が開設されております．奨学金は1学期間のみですが，目下，これを1年間に延長すべく寄付が募られているようです．蛇足ながら付記いたしておきます．なお，文献利用等につきましては下記へお問い合せ下さい．

【照会先】

〒239／神奈川県横須賀市走水 1-10-20
防衛大学校土木工学教室図書室
電話（0468）41-3810 番　内線 515

（正会員　**重村利幸**・記）

「工学における応力と変形の解析的方法」刊行さる―希望者は下記へ―

故原田正道博士が東大および長崎造船大学などで行ってこられた 20 年来の講義内容を骨子として，また関係各方面へ発表された研究成果を収めた遺稿集が出版されております．

本書は，材料力学，構造力学，弾性論，振動論，弾性安定論などと呼ばれる学問に共通して流れる解析的方法を，従来とはやや異なった視点からとりまとめたものです．

ご希望の方は下記あてお問合せ下さい．

〒851-01／長崎市網場町 536
長崎造船大学「原田正道先生遺稿刊行会」
熊川年久
実費 2500 円，送料㊎ 400 円
電話 0958-39-3111 番

（正会員　**長橋純男**・記）